

社会環境活動のあゆみ

JR東日本の活動

1987年	4月	日本国有鉄道からJR各社へ、東日本旅客鉄道株式会社発足。「第1回鉄道安全推進委員会」開催
	6月	「グリーンキャンペーン」スタート。お客さまのご意見を伺う「グリーンカウンター」を設置
1988年	9月	「チャレンジ・セイフティ運動」を全社展開
	4月	安全研究所、総合訓練センターを設置
1989年	5月	安全性を高めたATS-Pを東北線・上野～尾久間で使用開始
	10月	英語による電話案内「JR East InfoLine」を開設
	9月	「第1回鉄道安全シンポジウム」開催
1990年	10月	21世紀に向けた経営構想「FUTURE21」を発表。寝台特急に女性専用車両「レディースカー」登場
	12月	JR東日本テレフォンセンターを開設
1992年	3月	財団法人「東日本鉄道文化財団」を設立
	4月	エコロジー推進委員会を設置
	5月	JR東日本発足5周年記念植樹実施(以降、「鉄道沿線からの森づくり」として毎年度継続して実施)
	8月	山手線巣鴨駅にて3分別回収試行開始
	10月	「サービスシンポジウム1992」開催(以降、毎年度開催)
1993年	3月	終日禁煙を東京近郊及びエリア内主要駅に拡大
	5月	切符のリサイクル開始(千葉支社)
	11月	「アジア鉄道安全セミナー」開催
1994年	2月	上野駅リサイクルセンター開設(缶・ビン自動分別)。山手線など36駅で3分別開始
	3月	「安全基本計画」を発表
	9月	「第1回R&Dシンポジウム」開催
1995年	2月	首都圏の切符リサイクル開始
	3月	新幹線第1次騒音対策完了
	4月	新入社員全員にエコロジー教育開始。パーク&ライド向け格安レンタカー「トレン太くん」登場
	3月	JR東日本のインターネットホームページ開設
1996年	3月	CO ₂ 排出量などの具体的な環境目標を設定
	3月	環境報告書「JR東日本の環境問題に対する取り組み」発行(以降、毎年度発行)
	12月	東京圏輸送管理システム(ATOS)使用開始
	3月	南秋田運転所リサイクル設備稼働。全駅を「分煙化」、普通列車を全面禁煙化
1997年	9月	国際鉄道連合(UIC)環境コーディネーター会議出席(以降、毎年度出席)
	10月	長野新幹線運転所、東京駅リサイクル設備稼働
	12月	「COP3」に国際鉄道連合(UIC)と共同で参加
	1月	インターネットホームページ「E@Station」開設
1998年	3月	新幹線第2次騒音対策完了
	9月	古紙混入ポリエチレンゴミ袋の製造販売を開始
	11月	新木場リサイクルセンター開設(新聞・雑誌分別)
	11月	「世界で最も尊敬される企業」ランキング(ファイナンシャル・タイムズ紙)で27位に
	2月	「安全計画21」を発表。新津車両製作所ISO14001認証取得
1999年	3月	大宮リサイクルセンター開設(缶・ビン自動分別)
	4月	サービスマネージャー登場
	5月	駅で回収した新聞古紙を再生したリサイクルコピー用紙の導入開始
	9月	携帯電話文字情報サービスで列車の運行情報配信サービスを開始
	12月	エコロジーキャンペーン(京浜東北線でのエコトレイン運行など)
2000年	4月	「JR東日本総合研修センター」オープン
	4月	ペットボトル再生制服を導入。インターネットモール「えきねっと」開業
	9月	環境報告書において環境会計を開示
	11月	グループ中期経営構想「ニューフロンティア21」を発表、これに合わせ環境目標を改定
2001年	12月	(株)ルミネが本社・横浜店・町田店でISO14001認証取得
	3月	エコロジーキャンペーン(山手線でのエコトレイン運行など)
	3月	大井工場、川崎火力発電所、新潟機械技術センターがISO14001認証取得
	4月	「グリーンカウンター」を「お客さま相談室」に改称
	5月	「お客さまの声」をインターネットホームページで受付開始
	7月	埼京線で「女性専用車両」試行導入

社会環境関連受賞履歴

1992年	9月	第18回省エネルギー推進関東大会・最優秀賞(省エネルギーセンター主催)
1994年	10月	リサイクル推進功労者・運輸大臣賞 東京地域本社(リサイクル推進協議会主催)
1995年	10月	第5回環境広告大賞・環境庁長官賞 ポスター部門(エコライフセンター主催、環境庁後援)
1997年	4月	地球にやさしい企業・社会貢献部門賞 水戸支社(茨城県主催)
	4月	第6回地球環境大賞(日本工業新聞主催・WWF Japan特別協力)
	6月	第1回アクションプラン大賞・環境庁長官賞(全国環境保全連合会主催、環境庁後援)
	11月	東京都清掃局長特別賞 東京地域本社
	11月	第7回環境広告大賞・環境庁長官賞 ポスター部門(エコライフセンター主催、環境庁後援)
1998年	4月	グリーン・リポーター・アワード第1回環境報告書賞・優良賞 (東洋経済新報社、グリーンリポーター・フォーラム共催)
2000年	5月	日本MH大賞下地賞 改善合理化部門 東日本環境アクセス(日本MH協会主催)
2001年	5月	グリーン・リポーター・アワード第4回環境報告書賞・優良賞 (東洋経済新報社、グリーンリポーター・フォーラム共催)